

佐伯市の家庭ごみに関するアンケート調査結果について

○アンケートの趣旨と概要

循環型社会の構築を目指し、ごみ減量化・適正処理の基本方針を定める「第2次佐伯市ごみ処理基本計画(令和6年度～)の策定を進めるにあたり、市民の家庭ごみの排出方法や市の施策に関する意見等を調査するため、アンケート調査を実施した。

○実施期間 令和4年4月1日(水)から4月28日(木)

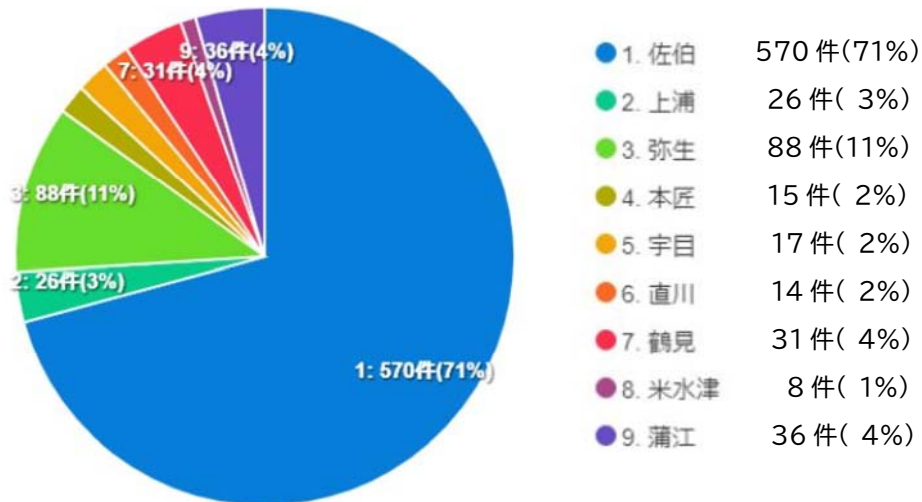
○回答数 805件 内訳〔WEB:743件、紙(本庁と各振興局):62件〕

○質問と回答状況

Q1. まずは、回答者ご自身に関する情報をお願いします。

[1-1 居住エリアを選択してください]

【回答状況】回答者のもっとも多い地域は、佐伯地域である。

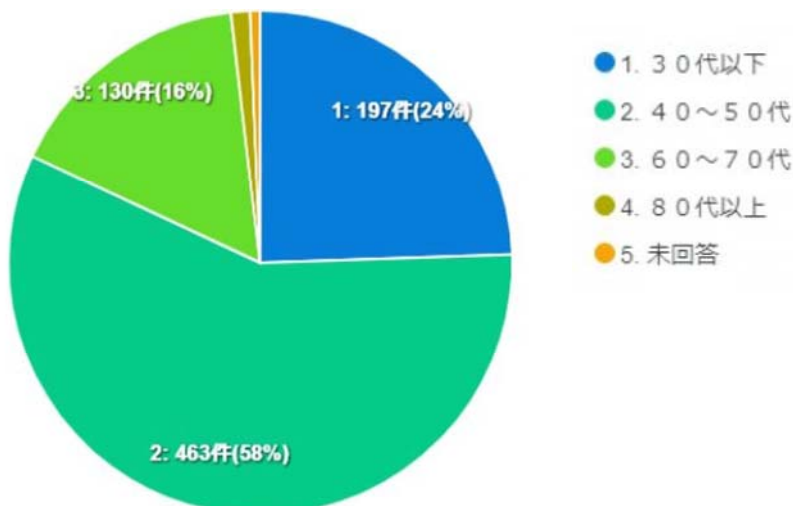


[1-2 居住している地区(行政区等)はどこですか?]

【回答状況】 省略

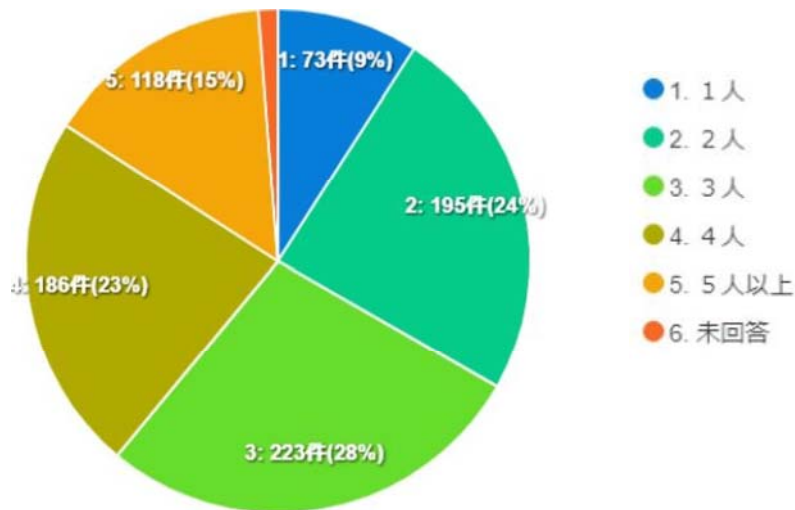
[1-3 年代を選択してください]

【回答状況】「40～50代」が58%で最も多く、次いで「30代以下」、「60～70代」の順である。



[1-4 何人家族ですか?]

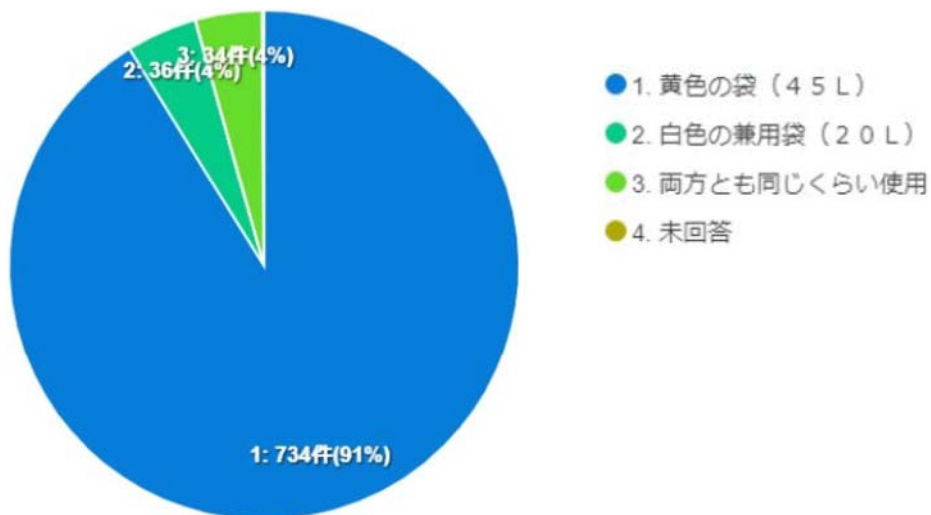
【回答状況】「3人」が28%で最も多く、次いで「2人」、「4人」、「5人以上」、「1人」の順である。



Q2. 燃えるごみ用の指定ごみ袋

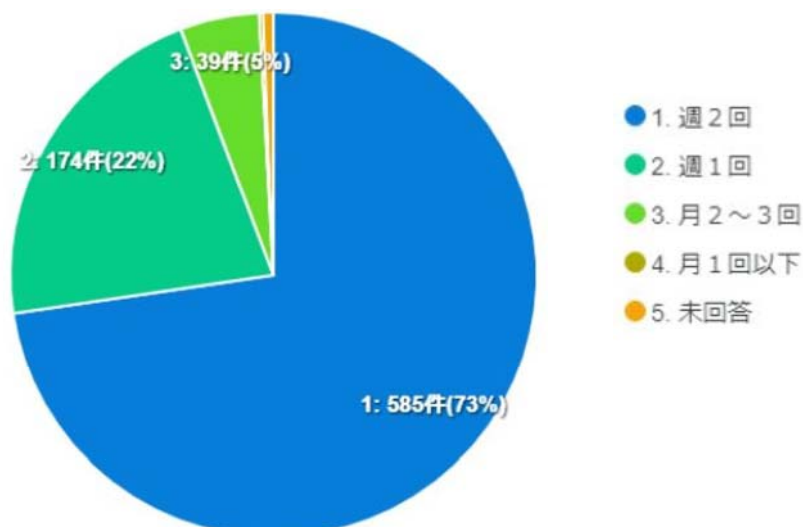
[2-1 燃えるごみは、主にどの指定ごみ袋を使用していますか?]

【回答状況】「黄色の袋」が91%で大多数を占めている。



[2-2 燃えるごみは、どのくらいの頻度で出していますか?]

【回答状況】「週2回」が73%と最も多く、以下「週1回」22%、「月2~3回」5%となっている。

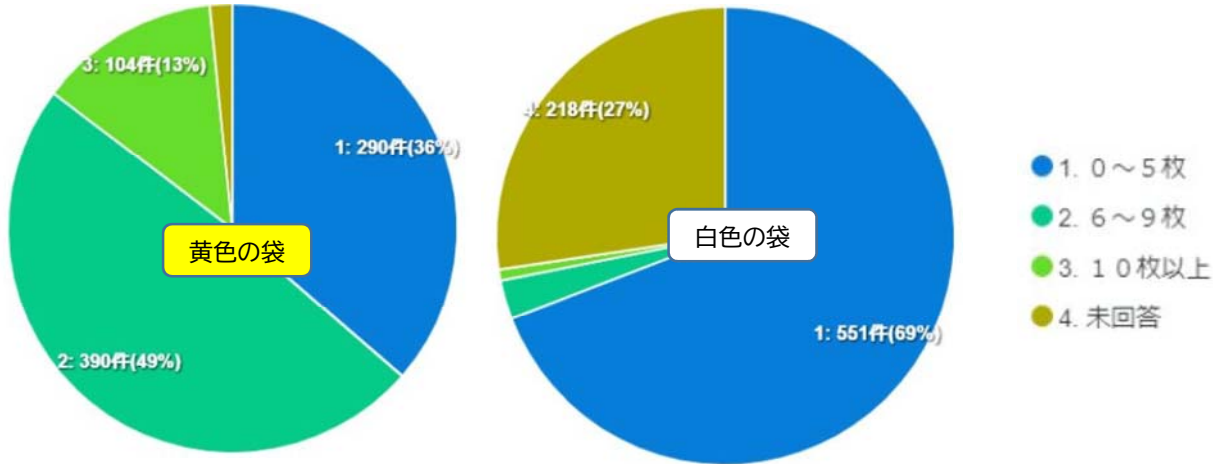


[2-3 2-2で「月2~3回、月1回以下」と回答した方は、どのような工夫をしていますか？]

【回答状況】 任意回答のため別表に掲載

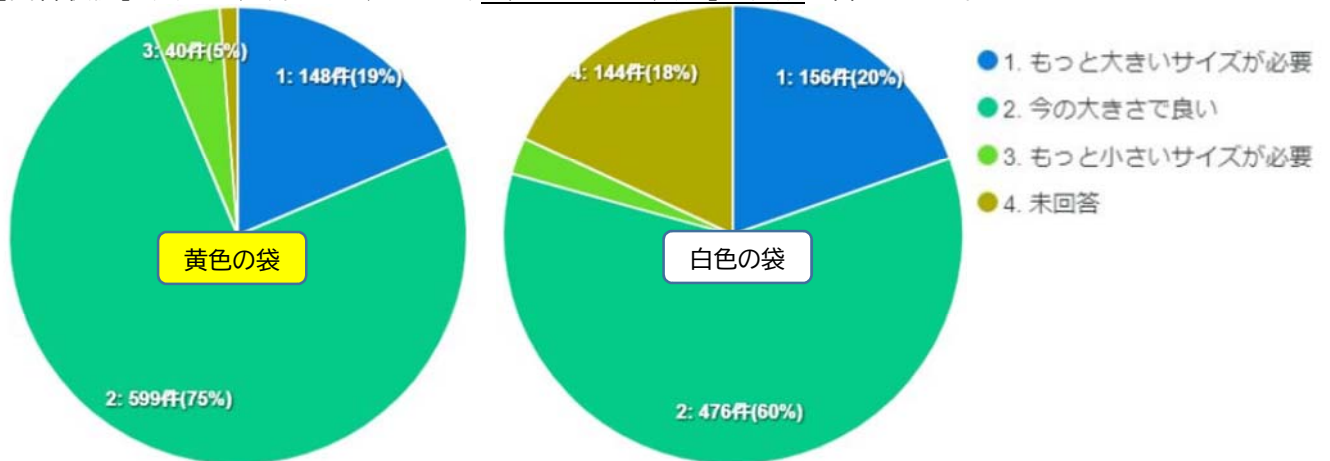
[2-4 燃えるごみの袋は、月(4週間)に何枚程度使用していますか？]

【回答状況】 黄色の袋は「6~9枚」、次に「0~5枚」が多く、白色の袋は「0~5枚」が多数を占めている。



[2-5 燃えるごみの袋の大きさは、どう思いますか？※複数選択]

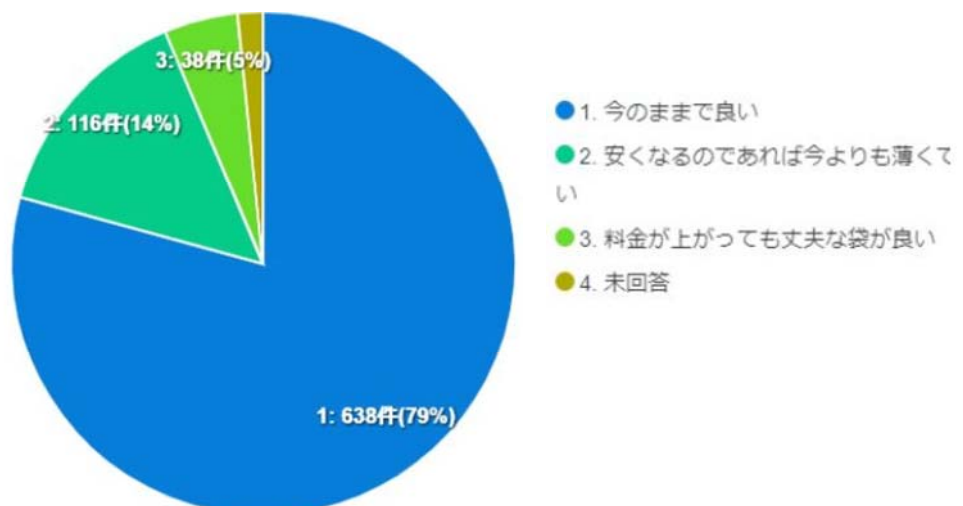
【回答状況】 黄色の袋、白色の袋ともに、「今の大きさが良い」が多数を占めている。



[2-6 現在の黄色の袋は、ごみ処理施設の攪拌作業で破れるよう、厚さと材質を設定しています。現状よりも厚く丈夫な袋にすると、袋の製造コストや焼却施設の処理コスト、さらに袋自体の重量増加によるごみ焼却量の増加につながるため、指定袋の料金の大幅な上昇は避けられません。あなたはどのように思いますか？]

【回答状況】

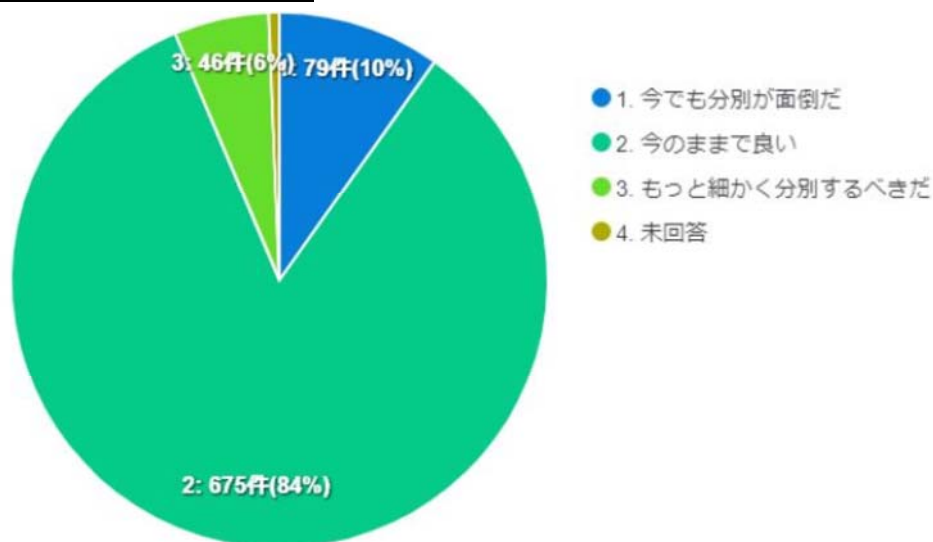
「今のままで良い」
が多数を占めている。



Q3. ごみの分別と収集

[3-1 家庭ごみの収集品目は、①燃える、②燃えない、③資源(飲食用のビン・カン・ペットボトル)、④資源(紙類・布類)、⑤有害ごみの乾電池等(佐伯以外)、⑥粗大ごみ(佐伯・上浦以外)ですが、6種の分別品目についてどう思いますか？]

【回答状況】「今のままで良い」が多数を占めている。

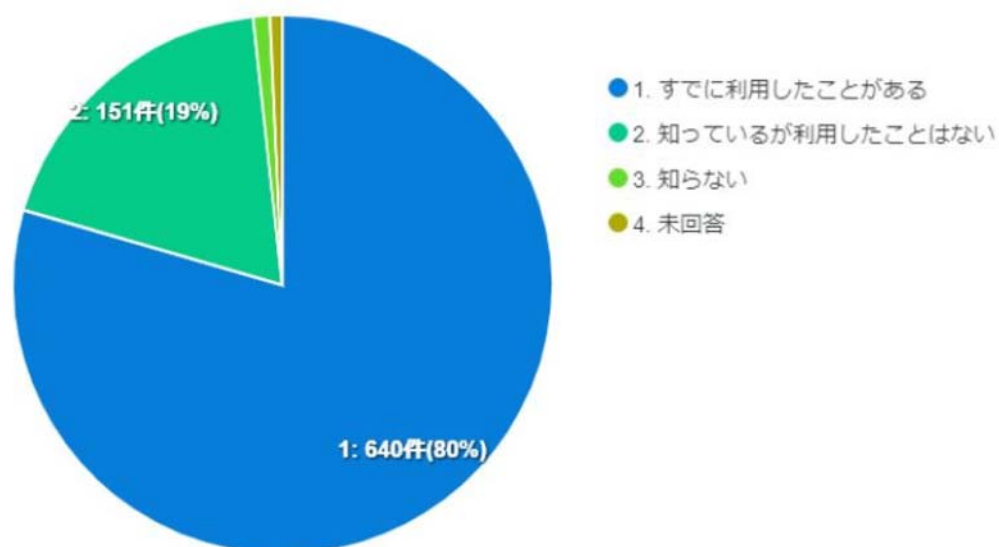


[3-2 3-1で「もっと細かく分別するべきだ」と回答した方は、どのような品目を増やすべきだと思いますか？]

【回答状況】意見のうち「プラスチックの資源化」に関する意見が大多数を占めている。 ※別表参照

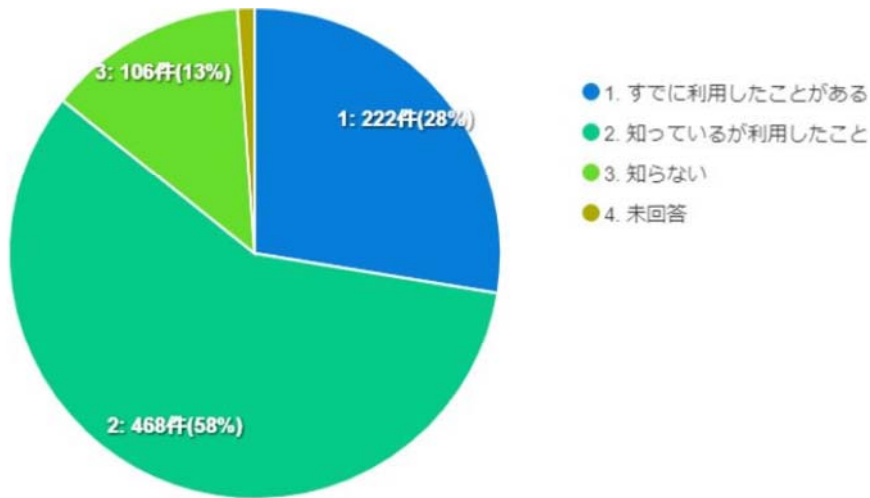
[3-3 エコセンター番匠へごみを直接運び込むことができることをご存じですか？]

【回答状況】「すでに利用したことがある」80%と「知っているが利用したことはない」19%で、ほぼ大多数を占めている。



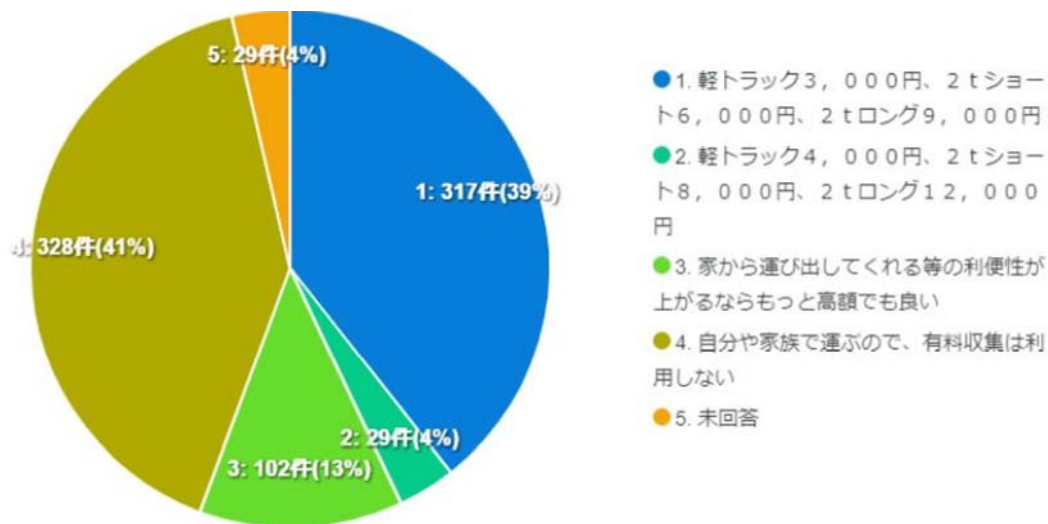
[3-4 予約制で引っ越しなどの多量ごみを有料で車両通行が可能な自宅前まで取りに伺う「有料収集」というサービスがあることをご存じですか？]

【回答状況】「知っているが利用したことはない」が58%、以下「すでに利用したことがある」28%、「知らない」(13%)となっている。



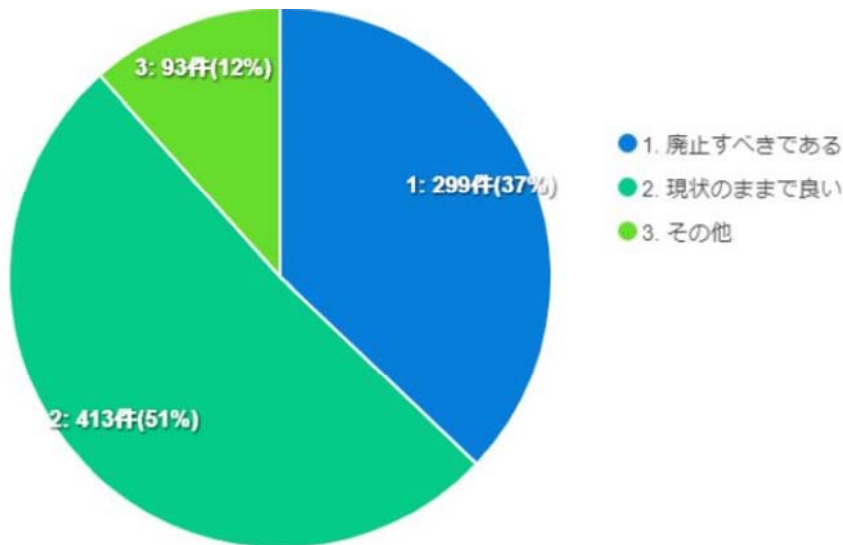
[3-5 3-4の有料収集の料金は、軽トラック1,100円、2tショート(中型)2,200円、2tロング車(大型)4,400円となっています。この料金は、一般的なレンタカー借上げ料(軽トラック4~5千円)よりも安い価格設定です。値上げするとした場合、どの程度の料金なら利用したいと思いますか？]

【回答状況】「自分や家族で運ぶので、有料収集は利用しない」が41%、次に「軽トラック3,000円程度」が39%、「利便性が上がるなら高額でもよい」(13%)となっている。



[3-6 家具などの粗大ごみについて、佐伯・上浦地域以外では集積所での定期収集を実施しており、粗大ごみが排出されていない場合でも収集ルートを実行するため、時間や燃料のロスが多く見直しを検討していますが、どのように思いますか？]

【回答状況】「現状のままで良い」が51%と半数を占め、次に「廃止すべきである」37%となっている。



[3-7 3-6で「廃止すべきである」と回答した理由は何ですか？]

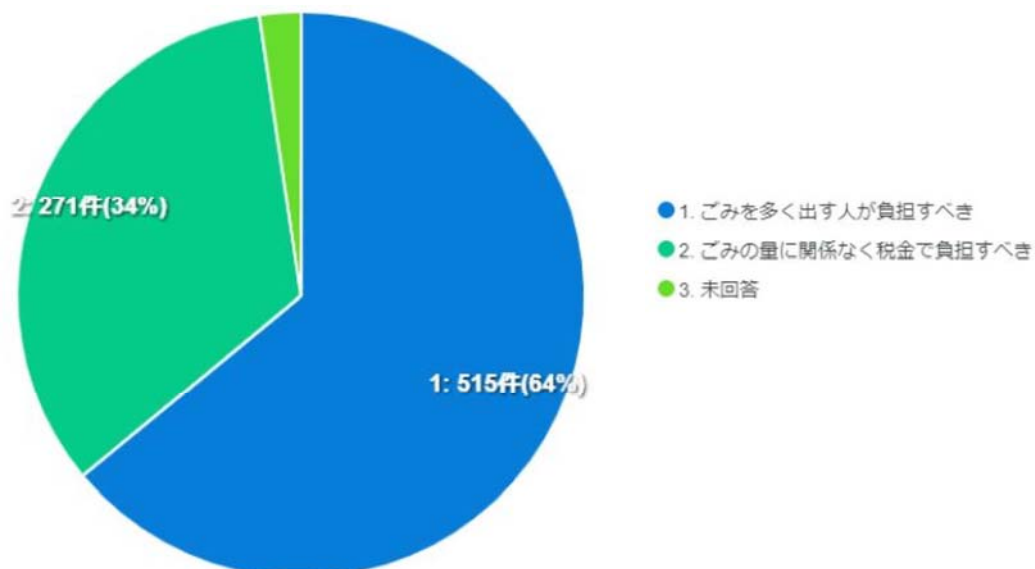
【回答状況】意見のうち「市内で統一すべき」「予約制などを検討すべき」「有料戸別収集で対応すべき」「回数を減らす」といった意見が多数あり。 ※別表参照

Q4. ごみ処理手数料について

ごみ処理には毎年14億円以上を支出しており、家庭ごみでは約50円/kg の処理経費がかかっています。それを踏まえて住民負担の考え方についてお聞きします。

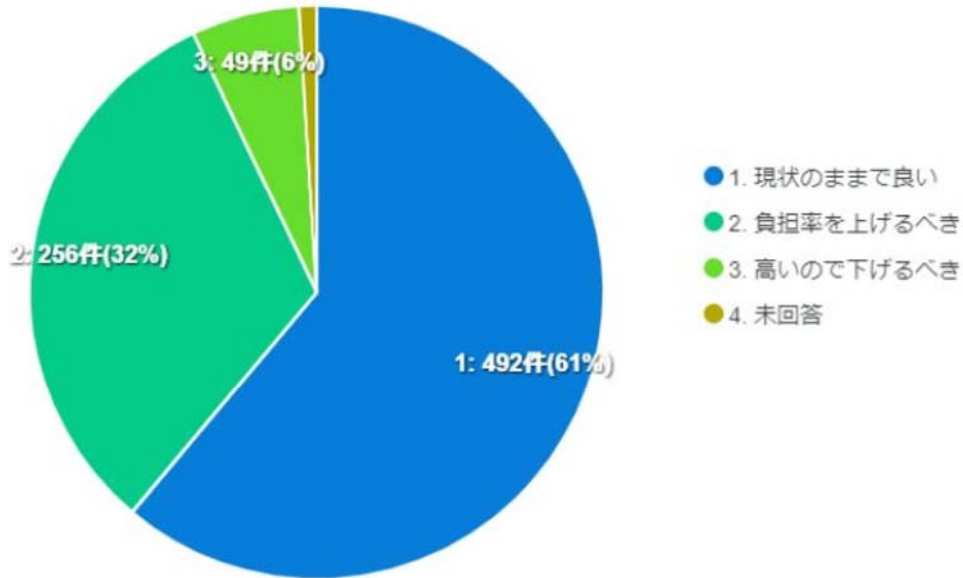
[4-1 住民負担の考え方としては、どちらの考え方が近いですか？]

【回答状況】「ごみを多く出す人が負担すべき」が64%、次に「ごみの量に関係なく税金で負担すべき」が34%となっている。



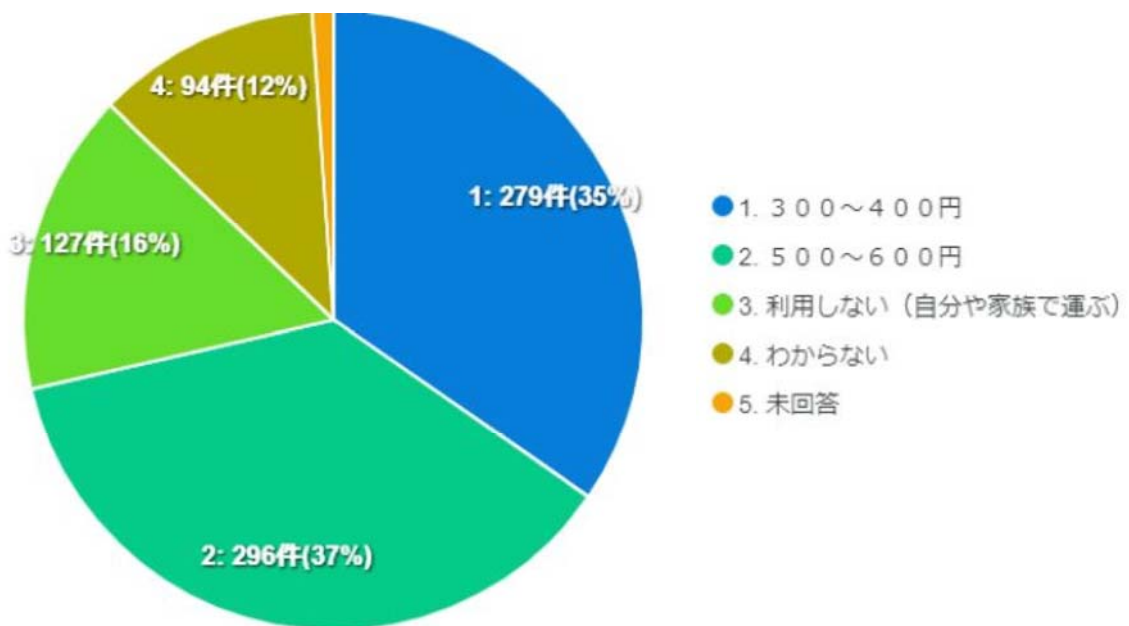
[4-2 指定ごみ袋(45L袋1枚)のごみ処理には約200円の経費が掛かっていますが、うち、170円(85%)は税金等で負担し、販売料金の30円(約15%)はごみを出す人の負担となっています。ごみを出す人の負担割合について、どう思いますか？]

【回答状況】「現状のままで良い」61%、次に「負担率を上げるべき」32%、「高いので下げるべき」6%となっている。



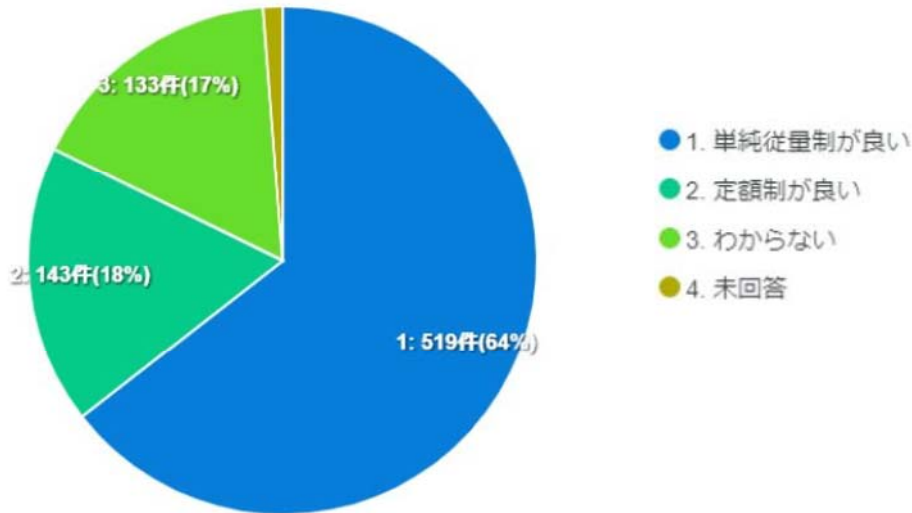
[4-3 家具などの粗大ごみについて、車両通行が可能な自宅前まで粗大ごみを取りに来てもらえたら、どの程度の料金(家具など1つ当たり)なら利用したいと思いますか？]

【回答状況】「500～600円」が37%、以下「300～400円」35%、「利用しない」16%、「わからない」12%となっている。



[4-4 家庭ごみのエコセンター番匠への搬入料金は、50kg以下だと50円という一部定額制の料金で、家庭ごみの処理原価約50円/kg に対し、本人負担はわずか1円(2%)のみとなっています。全国的には、ごみの量に応じた単純従量制(比例型)が9割を超えており、その方向で料金見直しを検討していますが、どのように感じますか？]

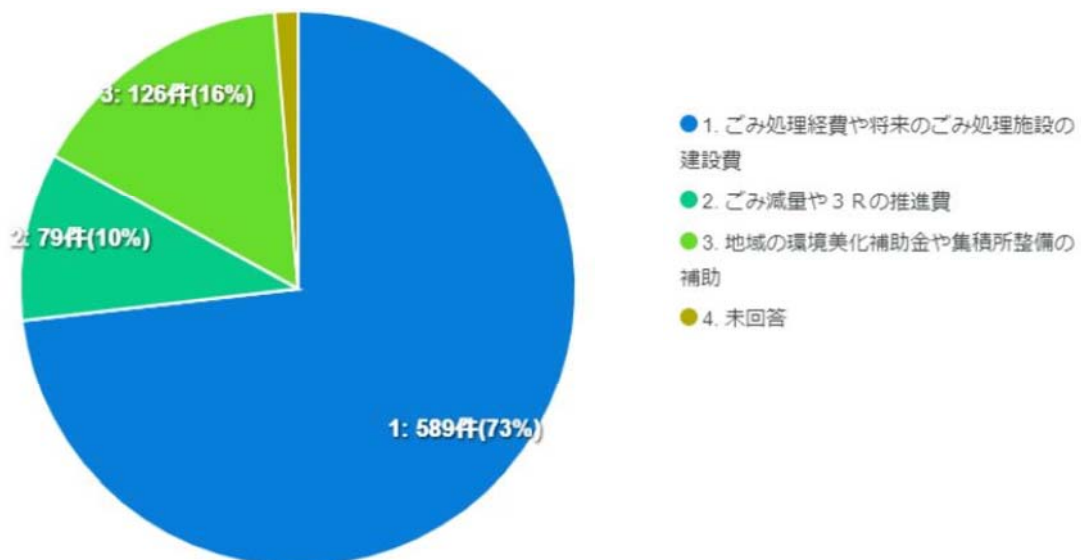
【回答状況】「単純従量制が良い」64%、以下「定額制が良い」18%、「わからない」17%となっている。



Q5. その他

[5-1 市民から集めたごみ処理料金の使い道として、妥当だと思うものはどれですか？]

【回答状況】「ごみ処理経費や施設建設費」73%、以下「集積所整備などの地域への補助金」16%、「ごみ減量や3R 推進費」10%となっている。



[5-2 ごみ処理全般について、ご意見がありましたらお願いします。]

【回答状況】 様々な意見のうち、「ごみ減量とごみ処理経費に向けた広報活動の充実」や「ごみ処理手数料や指定ごみ袋の品質改善」等の意見が多数あり。 ※別表参照